



# 議会だより

No.21

発行責任者：南魚沼市議会議長 若井達男

編集：議会広報編集特別委員会

● 12月定例会の傍聴者 **115人**(延べ)でした



さいの神

議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索

市議会のしくみを紹介します	2・3
一般会計補正予算(第4号) 10億2,311万円を補正	4
質疑応答 こんなやりとりがありました	5
市長所信表明	6
一般質問 新人含め20人が登壇	7~16
地域医療対策調査特別委員会を設置しました	17
12月議会での主な議決結果	18・19

市議会って何をするところ？

議場はどうなっているの？

# 「議会」を紹介します



昨年の10月18日投開票で行われた市議会議員選挙で、議員定数が26名になり、11月1日から新たな構成で議会がスタートしました。

定数も減り、ますます議会の任務は重要になります。議会だより等をとおして議会の様子をお知らせしますが、まずは「議会のしくみ」などを皆さんに紹介します。

## 市議会と市長

わたしたちが住んでいる南魚沼市を明るく、豊かな、活力に満ちたまちにするために、市民がみんなで話し合いをし、これを実行していくことが最も望ましいことですが、それはなかなか難しいことです。

そこで、直接選挙で代表者を選んで、市民のためにどのような仕事をしたらよいかを相談し、決めるのが議会（議決機関）です。一方、市長（執行機関）は、議会の決定に基づいて事業を具体的に実行していきます。

議会と市長は、それぞれ独立の機関で、それぞれの権限・役割で相互のけん制と調和によって、市民のための市政を進めています。

## 議会の役割

### 議決権

- 条例を制定・改廃すること。
- 予算を決め、決算を認定すること。
- その他法律などに定められている主な事柄を決めること。

### 調査権

議会が市の事務を調査すること。

### 検査権

市の事務が議会の議決どおり執行されているかを検査すること。

### 監査請求権

監査委員に監査を求め報告を請求すること。

### 選挙権

議長、副議長、選挙管理委員などを選挙すること。

### 意見書提出権

意見書を国や県に提出すること。

### 請願陳情受理権

請願・陳情を受け付け、審査すること。

### 同意権

副市長、教育委員、監査委員などの選任に同意すること。

## 本会議と委員会

### 本会議

市議会の会期中に全議員が集まって開く会議を本会議といいます。議会の意思決定はここでなされます。原則として議員定数の半数以上の出席がなければ会議を開くことはできません。

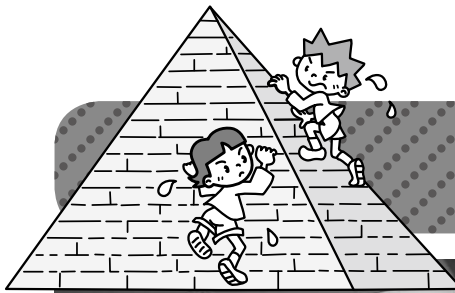
本会議では、提案理由の説明が市当局から行われ、それに対する議員の質疑、討論、そして採決を行います。詳しい審査が必要なときは、所管の委員会に審査を委託（付託）し、委員会の審査を受けたのちに本会議で採決されます。また、市長に対し市政一般の質問をしたり、意見を述べたりする一般質問もここで行われます。

### 委員会

本市には、常に置かれている3つの常任委員会と議会運営委員会があります。また、特定の案件について審査・調査するため、特別委員会を設置することがあります。

委員会名	
常任委員会	総務文教委員会
	産業建設委員会
	社会厚生委員会
特別委員会	議会広報編集特別委員会
	地域医療対策調査特別委員会
議会運営委員会	





## 「議場」はこんな感じ…



写真上左：議席  
写真上右：議場ロビー  
写真下左：執行部席  
写真下右：議長席・演壇



## 傍聴に来てください

本会議は、どなたでも傍聴できます。

事前の申し込みは不要です。当日は市役所本庁舎3階で傍聴を受け付けています（議員控室前）。受付の際、「議会傍聴人受付簿」という用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴受付箱へ入れ、議会事務局職員の指示に従い入場してください。なお、傍聴席へは都合のつく時間で入退場ができます。

一般質問では、各議員の質問概要を受付時にお渡ししています。詳しいお問い合わせは、議会事務局までご連絡ください。



# 平成21年度 一般会計補正予算 (第4号)

10億2,311万円追加し、  
総額334億2,716万円となる。

(万円未満切捨)

## 歳入 (主なもの)

- ・ 地域活性化・公共投資臨時交付金…………… 4億5,454万円
- ・ 子育て応援特別手当交付金…………… △5,508万円
- ・ 五十沢小学校危険改築事業交付金…………… 2億4,857万円
- ・ 小学校耐震補強事業交付金…………… 2億4,184万円
- ・ 新型インフルエンザワクチン接種助成費臨時交付金 2,578万円
- ・ 南魚沼市愛プロジェクト推進基金繰入金…………… 3,000万円
- ・ 「愛・天地人博南魚沼」決算剰余金 …… 3,000万円

## 歳出 (主なもの)

- ・ 職員費…………… △1億1,010万円
- ・ 大河ドラマ「天地人」プロジェクト推進費…………… 6,564万円
- ・ 自立支援事業費…………… 3,957万円
- ・ 常設保育園保育費…………… 5,188万円
- ・ 子育て応援特別手当事業…………… △5,822万円
- ・ 予防対策事業費…………… 5,437万円
- ・ 小学校耐震補強事業費…………… 4億9,986万円
- ・ 五十沢地区小学校統合整備事業費…………… 4億9,558万円

# 質疑応答 (抜粋)

## 質疑

通常のインフルエンザ助成金だと医療機関の窓口で引いているが、なぜ市単独事業の新型インフルエンザの場合は市の窓口まで行って申請しなければならぬのか。

車がない方はタクシーを利用して申請するしかない。

## 答弁

できるだけ早く市民に周知すべきことから、医師会と補助金交付方法の話し合いをする十分な時間がなかった。また、費用面で1件当たり3000円の事務手数料が必要であり、今回300万円かかるため市役所の窓口でさせていただいた。

申請にタクシー利用をしなければならぬ、時間がなくて行けないということがあったら、市に

相談してほしい。



## 質疑

自殺予防対策事業のラジオ放送委託料9万5000円はFMゆきぐにへの委託料と思うが、わざわざここで予算として出さずとも全体の中でFMゆきぐにとの交渉でやれるのではないか。

## 答弁

FMゆきぐには行政に対して非常に協力していただいている。新規事業なので別個に支出させていただいた。

## 質疑

今の除雪体制は市と

しては万全だとされている。除雪車購入費は2416万円の執行残であるが、温暖化により小雪となってきたことを見越しての執行残か。

## 答弁

今年2台大型ロータリーを購入し、その際の請負差額による執行残で、競争原理が働いた結果である。温暖化に対応した除雪体制はとも組める状況ではない。

平成18年の時のこともあろう。これから道路整備等によって歩道除雪が増加する傾向にあり、対応するには除雪車の購入を前倒しする必要がある。



## 質疑

教職員用電算システム

導入委託料と教職員パソコン・周辺機器購入費がかなりの減額になっているが、システム導入により教員の負担はどうなるのか。

## 答弁

入札結果での執行残による減額である。教師用のソフトをパソコンに入れて統一化し、教員の事務の効率化に役立てたい。最初は戸惑う面もあるだろうが、最終的には効率化されると思っている。

## 質疑

民間企業から無償で土地・建物が寄付されたというが、市としては固定資産税の収入減、また維持管理費・補修費がかかる。

## 答弁

今後同様な案件が出てきた場合は慎重に対応すべきと思う。また、建物の利用展望は。

寄付に関しては何でも

貫うということにはならない。市として適当かどうか判断して受納するも

のだと思っている。社会教育関係の文化財の倉庫として利用し、国体の資材も入れたいと考えている。

## 質疑

選挙において、障がい者の方で福祉タクシーを使って投票される方も見受けられるが、なかなか辛いとの声もある。参政権の面に関して、今後もう少し手を加えるべきと考えるが。

## 答弁

タクシー券の利用の考え方は、あくまでも障がい者の社会参加促進をしたいということである。選挙に利用するというのも有効な方法と考えているが、検討させていただく。

## 質疑

今年度は税収減が非常に懸念されるが、収納状況の見通しは。

## 答弁

10月末現在で、一番影響が大きいのは法人市民

税。過去に例のないほど大きく落ち込むだろう。法人税だけで見れば、予算額より20%位は補正減額が出るかという状況である。

## 質疑

旧焼却施設の解体に係わる環境測定は地元要望とのことだが、その背景には不安があるからだと思う。

## 答弁

解体が進むにつれ、当初見ることができなかった部分でピットのところは排水溝があることが判明した。

関係集落の役員からも見ていただき、不安解消も含め要望が出されたため、調査をさせていただきたい。





# 市長所信表明

(抜粋)



## 1 保健・医療・福祉について

・新型インフルエンザ対策については、ワクチン接種費用の助成を国県の補助事業に該当しない場合も、単独事業として妊婦、基礎疾患を有する者、1歳から小学6年生まで及び1歳未満の小児の保護者にも1回当たり1,500円助成することになりました。

・魚沼基幹病院については、県により現地の現

## 2 教育・文化について

況測量、地質調査が実施されました。

・トキめき新潟国体については、当市で行われた自転車ロードレース、テニス競技も成功裏に終了しました。

・国の重要無形文化財であります「小千谷縮・越後上布」がユネスコ総会で無形文化遺産代表リストに登録されました。関係各位の日頃の精進の賜であり心から敬意を表します。

## 3 環境共生について

・旧可燃ごみ焼却炉解体工事については、放

## 4 都市基盤について

流水や環境に関する問題で地元との調整や情報公開等を行いながら、11月10日から解体工事が始まりました。10月27日建屋内のトランス横転で油流出事故がありました。PCB汚染等は関係者のご協力の下流域流出を適切に防止できました。

・一般国道253号線八箇峠トンネル工事の進捗は南魚沼坑口より730㊦掘削が進んでいる状況で、9月には南魚沼工区1、628㊦のうち、残工事901・5㊦が契約されました。

・斎場改築工事は順調に

## 5 産業振興について

進捗していますが、平成22年10月1日オープンを目指し安全第一に進めています。

・平成21年度産米の作況指数は、全国98、新潟県99、魚沼100の「平年並み」となり集荷円滑化対策の発動は回避されました。

・プレミアム商品券の第1回発行が終了し、換金率は72%でした。引き続き第2回発行を11月14日から開始しました（11月25日完売）。

## 6 行財政改革・市民参画について

・大原運動公園検討委員会是一般公募委員5名を含み20名を委嘱し、第1回を10月27日、第2回を11月26日に開催し、具体的な意見交換を始めたところで

す。今後も検討し平成22年4月に素案をまとめ、パブリックコメントにより、市民の意見を聞きながら進めていきます。

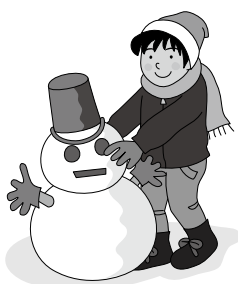
・図書館（情報館）整備検討委員会も、16名を委嘱し第1回を11月12日、第2回を11月26日に開催しましたが、大原運動公園と同様に進めたいと考えています。

昨年より、景気対策として雇用および資金繰り対策に取組んできたところであり、景気回復までにはまだ時間を要するものと認識しておりますし、景気回復には1市町村では対応に限界があるところがあります。国策として今以上の経済対策が行われ、国と連動した取組みで地域が元気になることで、市民の将来への不安を払拭することは喫緊の課題であると考えますので、今後も景気回復に最大限の配慮をしてまいります。

大河ドラマ「天地人」と「トキめき新潟国体」の二大イベントが、市民挙げての取組みと関係各位のご尽力により、成功裏の内に終わることができましたことに深く感謝申し上げます。これは市民と行政が一体となり、知恵と力を結集したこと、大きな成果であったと考えますし、市の将来の発展につながる大きな力になったと感じております。

今後とも「希望溢れて伸びるまち」を目標に、一歩一歩着実に進めてまいる所存であります。

※市長所信表明は多岐にわたりましたので、一部抜粋して記載しました。



## 市総合計画の見直しは

**答** 計画に施策指標と目標を設定する

腰越 晃 議員

今回の見直しは、各施策ごとの指標を設定し、指標のうえに目標値と達成年度を明示する画期的な内容を目指してい

る。指標設定は、市民アンケート調査にも基づく。市独自の施策の重点指向、財政上の制約、職員意識改革、マネジメントサイクルの確立等課題となる。今後の一般的な動向として、「政策指標の設定と業績測定」の一連の取り組みが課題であり、今回の見直しを評価するが、考えを伺う。

市長

第一次南魚沼市総合計画（10年）の中間見直しを1年早める。基本構想部分の見直しは行わず、基本計画部分を行う。

① 33の施策ごとに達成目標を掲げ、財政上の整合をはかりながら、必ず達成すべき現実的な目標値を設定したい。

② また目標値の設定は、今市が取り組もうとしていることを市民に発信できるように設定し

たい。

③ そして市民満足度を検証しながら、事業の見直しを進めるマネジメントサイクルを重視する。

④ 意識改革の認識は私も職員も常々持っている。

⑤ 指標設定は、議論の分かるところだが、新たな試みとしてご理解を頂きたい。



塩沢市民センター

## 介護施設の充実図れ

**答** 民間事業所で整備を図る

牛木芳雄 議員

市民要望の大きいものの一つに介護施設の充実がある。常に介護を必要とする人達の入所する施設が足りない。

「みなみ園」はじめ特養5か所の待機者は実人数で417人である。早急にその整備を図るべきだ。そして、そのすべてを民間の事業所に委ねるのではなく、公または公に近いところで整備を図ってはどうか。

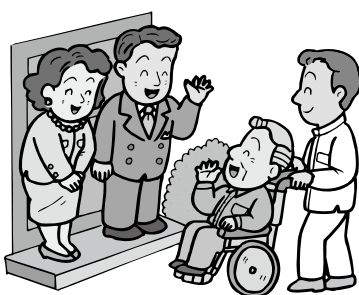
市長

介護施設はどんどん作ることはできない。それは地域にベッド数の割り当てや、保険料の高騰があるからだ。

介護保険の21年度から23年度の計画の中で施設入居待機者解消のために、ミニ特養2か所、グループホーム3か所、小規模多機能型居宅介護施設2か所を民間事業所が整備をしていく。

基本的には民間で整備

をしていくが、民間で対応できない事態が発生すれば行政は放置できない。



# 景気対策・公共事業への スタンスを問う

**答** 必要な公共事業は行う



桑原 圭美 議員

①景気の厳しい中、個人、法人に対する金融支援の更なる充実を求めたい。  
②環境に関連した企業誘

致や産業創造を。

③公共事業は、後に生じる負担も将来的には財産になると考え、推進するべきと考えるがどうか。

**市長**

①金融機関と連携し、更なる支援を進めていく。  
②経済産業省の「健康ビジネス連峰構想」により、基幹病院を核とし、医薬品や医療器具の開発ができる企業の誘致

を考えている。

③当然、ムダな事業は排除する。しかし、公共事業はこの地域の景気や雇用の面からも重要な政策であり、総合的な判断により、必要なものは進めていかななくてはならない。

# 新卒者向けの 就職支援を

**桑原**

来春3月の新卒者、特に高校3年生で就職が未定な方に対する積極的な支援を。

**市長**

市の臨時職員として短期雇用し、就職活動の指導、支援を行うことを検討している。



# 野球場建設は 合併事業に向かぬ

**答** 夢を育む適正事業



中沢 俊一 議員

合併特例債の本来の狙いは、それまで別々の町村で暮らしてきた住民がその事業を行うことにより、仲良く、便利に、元

気に暮らせること。

それが、多くの住民が首をかしげる事業に使われれば問題が残るが、公式野球場は「効果」と「負担」の面から、その種の事業に該当をしないか。そういう事業が混じると、特例債事業の残り百億円余りのみならず、当市の特別会計も含めた年間予算5百数十億円も、長い間にゆるみを生ずる。

「建設反対」の署名等が、要望の署名8千人を上回った場合の対応と、

総務省の示した財政指針への認識を問う。

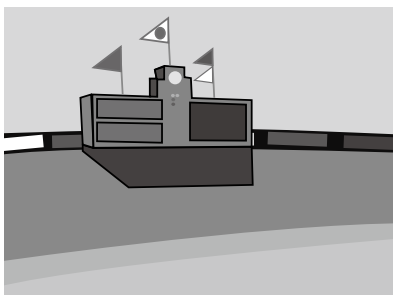
**市長**

公式野球場は議決要件でなく議会の議決は受けていないが、子どもたちの夢を育てる事業だ。野球場に限らないが、例えば大半が反対であっても自分の信念や市の将来のためであれば、私はやる。これは、建設によってだれも迷惑をこうむると

いう施設ではないから、この種の反対署名などで

争うことは愚かなことだ。従ってそういう署名をして建設要望の署名8千人を上回っても一切耳をかすつもりはない。整備計画は検討委員会の答申を待つて決めていきたい。

類似団体財務比較では、7項目中4項目で適正度が劣っているが、市民の皆さまに心配や迷惑をかける状況ではない。この状況をきちんと堅持しつつ新市建設計画にのっとり事業を推進していく。





## 観光産業の将来展望と 冬季観光の再生を

**答** 市観光の根幹、  
新たな雪観光の構築も急ぐ



林 茂男議員

市観光の中核である冬  
観光は疲弊感が濃い。そ  
の再生に市長の強い姿勢  
を望み、以下を問う。

①観光全体の中で冬季観

光をどう位置づけるか。

また展望と施策方針は。

②特別切符等の実現につ

いて、JR東日本に要

望してもらいたい。

③温暖化の中、人工造雪

機設置は産業全体を守

るインフラ整備と位置

づけるべき焦点の課題

だ。実現を目指すとし

たその後の成行きは。

④スポーツ指導者不足。

有能な人材が雇用、待

遇面から地元に戻れず

流失している。職員あ

るいは臨時採用等で打  
開する方策は。

**市長**

①市観光の根幹である。

しかし、スキーだけで

はない新たな雪観光の

構築を急ぐべき。来年

からアジア諸国で天地

人が放映される。雪へ

の憧憬の醸成、外国人

客の需要を取り組む施

策展開をしたい。

②厳しい状況だが、様々

な機会を通じて要望、

提言をしてゆく。

③導入検討にも至れない

企業経営の現状もあり

実現化は遠のいている。

県、市、地域全体での

バックアップ体制確保

の必要性を痛感してい

る。改めて話し合っ

ていく。

④専門職としての採用要

件であれば考えられる

が市の体制がそこに

至っていない。一般職

採用の最終選考ともな

れば実績を当然考慮す

## 厳しい経済情勢のなか 市の雇用対策は

**答** 喫緊の課題  
国・県と連携し取り組む



黒滝 松男議員

全国の10月末の完全失  
業率は5・1%、失業者  
は344万人、有効求人  
倍率も0・44倍と厳しい  
雇用情勢が続いている。

一方、ハローワーク南

魚沼管内の有効求人倍率

は、パートを除く常用で

0・41倍、また来春の新

卒者で地元就職希望者の

10月末での内定率は63・

8%と大変厳しい状況で

ある。夢と希望に満ちた

若者がこの地で働ける環

境を是非とも作らなけれ

ばならない。

また、大河ドラマ「天

地人」が終了し、天地人

博も間もなく終わる。天

地人後のさまざまな観光

振興により、1人でも多

くの働く場が確保できれ

ばと考えるが市長の見解

を伺う。

**市長**

ハローワーク南魚沼

の有効求人倍率は20ヶ月

連続で1倍を割っている。

特に製造業が厳しい状況

であり、新卒者の就職も

厳しいと認識している。

今後、期待できる総合

健康産業の誘致、この産

業の地元での起業支援に、

国県と連携し取り組みた

い。

天地人後の観光振興に

ついて、来年は戦国エキ

スポ、兼続公生誕450

年祭、合併5周年等イベ

ントを通じ活性化を図り、

雇用の場の確保に努める。



# 人口減少に対する市の取り組みは

**答** 決め手はないが前向きに取り組んでいる



樋口和人議員

合併から5年、南魚沼市の人口は1,500人余も減少している。人口減少の問題は全国的なものと認識している

が、このことは購買力の低下、労働力の減少、そして税収の減少など、市の活力が著しく損なわれる重大な問題と考える。

そこで少子化等に対する対策も大切だが、一方では南魚沼市を離れ、他の地域で学ぶ若い皆さんにこの地に帰って来てもらう方策が必要と考える。例えば、大学生になった夏休みにこの皆さんに集まってもらい「セミナー」を開催し、この地

の歴史や文化、風土など南魚沼市の魅力や資源について学んでもらい、南魚沼市に誇りを持つてもらおう。また、この地の産業や企業を知ってもらい、後々そこで働くことを前提で学んできてもらう。そういった仕掛けが必要と考えるが、市長の見解を伺う。

**市長**

少しでも人口減少に歯止めをかけるための施策を講じているが、これといった決め手につながらない。提案の件も前向きに検討し、できるところから進めていきたい。

# 広域有機センター周辺の環境対策は

**答** 将来的には景観美化も



小澤 実議員

南魚沼広域有機センターは、平成18年より稼動し指定管理者の下、市内全域に良質の堆肥を供給し好評を得ている

が、周辺は高速道路、「水の郷工業団地」、17号浦佐バイパス、ゆきぐに大和病院、八色の森公園等、これからも県内外の人の出入りが増加する訳なので「におい」対策をしなければ南魚沼市のイメージダウンとなること心配である。

**市長**

臭気対策については脱臭装置を利用しており、市民・周辺施設からは苦

# 魚沼基幹病院の看護師対策は

小澤

県は10月に魚沼医療圏地域医療再生計画を発表し、平成27年に魚沼基幹病院を開院とある。医師の確保が大前提であるが、看護師も新たに50名程度

**市長**

1月中旬に厚生労働省の予算が付けばこの新制度も魚沼地域の高校に情報提供し、地域より一人でも多くの看護師を確保したい。



南魚沼広域有機センター



## 産業振興ビジョンの進捗状況は

**答** 健康関連産業を重点育成産業に



今井久美議員

①実施計画（3年）の状況は。  
②企業立地推進員の現況は。社会やこの地の利便性を熟知した方々。

同じ経費をかけるなら、職員より推進員の方が効果出るのでは。市内で多くの雇用を支えて頂いている企業家との懇談会も意義あると考えるが。

③広域的情報の把握体制は。2014年問題、新潟港湾などの進展で、この地の流通、利便性にも変化が出てくる。自主財源、雇用確保のためにも情報収集を。

**市長**

①計画通りに進んでいる状況にない。平成22年度末に光ファイバー利用可能となり、活用して活動してゆく。部長以下5名（商工振興班3名含む）が主として担当。専門部署は難しい。健康関連産業を重点育成産業と考えている。国際大学との連携は未着手。  
②現在推進員8名で、平成25年まで延長した。

定期的な打合せは年1回実施。必要経費は、前段（接触段階）は自己負担、ある程度進んできたなら交通費等の対応をする。

③県の東京事務所、産業振興関係者と連携。非常に重要なことである。最大限のアンテナを張って情報収集に努めてゆく。



商工振興班

## 水道料金の改善策は

**答** 新年度、軽減を検討



岡村雅夫議員

年収200万円以下の「ワーキングプア」が、1千万人を超えている。貧困をなくし、格差是正は政府と自治体の役割だ。

**市長**

景気対策として、基本料金半額は継続せよ。また、過大な水需用予測と投資が、高い水道料金の原因だ。借金残高170億円で返済19億円、収益17億円では見通しが立たない。投資的部分は水道料金でなく一般会計で持つべき。改善策を。

基本料金半額は好評だが継続は難しい。新年度予算で軽減を考える。一般会計繰入れ基準を満額

## 大和病院の存続を

**岡村**

は出していない。たとえば魚沼市が全量買っていくと半額になる。今後の課題だ。

大和地域では、大和病院の存続が大きな関心事だ。開業医が少なく、いつでも気軽に診てもらい、入院できる病院を望んでいる。①2月時点で診療所化との判断は。②市立病院群のあり方は、六日

町病院を市立病院とするのを前提か。③大和病院のビジョンを示し、意見を聞き、積み上げて判断を仰ぐ姿勢が必要だ。

**市長**

①診療所にするとは言っていない。病床数もゼロとも言っていない。②六日町病院はなくせない。大和の理念を引き継ぎ整備していく。③基幹病院と連携し役割分担する。敷地内に建設し駐車場用地は新たに取得する。

町病院を市立病院とするのを前提か。③大和病院のビジョンを示し、意見を聞き、積み上げて判断を仰ぐ姿勢が必要だ。



ゆきぐに大和病院



# 子宮頸がんの予防ワクチン 公費負担を求めるが

**答** 来年度、実施の方向で  
検討したい



中沢一博議員

① 女性特有がんの乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券の継続を求めるが、また子宮頸がんの予防ワクチン

が承認され、接種でほぼ100%の予防が可能である。しかし若い方には3万6,000円かかり経済的にも厳しい。この機会に公費負担を強く求めるが。

② ジェネリック医薬品の推進で患者の負担を軽くし、国保の財政安定と保険料の抑制になる。

「お願いカード」の実施を提言するが。

**市長**  
① 無料クーポン券の配布

により、受診率が大きく上回ると予想しており国の動向を見た上で検討したい。子宮頸がんの予防ワクチンの公費負担は、来年度実施の方向で検討したい。

② 市民の理解・啓蒙の中で積極的に取り組みたい。

## 子ども手当について

中沢

万が一、地方に負担を求められた場合、当市の負担はどのようになるか。

具体的な家庭試算は。

**市長**

児童手当は現在1億4,000万円である。子ども手当の対象者は8,500名いて、3分の1の負担を求められた場合約8億円となり、当市として財源が捻出できないので市独自の手当を考えなければならぬ。  
年収400万円の夫婦子ども2人で扶養控除が全て廃止の場合、18万5000円の増税となる。

# コミュニティ活動を どう進める

**答** 現状の中で地域に合わせ



井上智明議員

日本の高度成長は行政依存型の住民と、要求がなければ動かない行政を形作ってしまった。また、社会の多様化と相まって

個人主義が蔓延し、地域の絆が崩壊しつつあり、本来個人と地域社会が構成していた集団が、共同体としての機能を失いつつある。

そんな社会に対応する有効な手段がコミュニティ活動である。現在日本中でその意義に注目し、積極的な議論が起こっている。南魚沼市のコミュニティ活動の支援について市長に伺う。

① 組織の育成について

② リーダーの育成は

③ 専任部署の設置は

④ 今後の活用について

**市長**

コミュニティ活動に対する本旨は同感である。組織及びリーダーの育成については現予算、一コミュニティ250万円の活用の中で対応していきたい。

専任部署の設置は現段階では難しい。職員に余裕が出たら検討する。

組織の活用については、公民館の分館事業を併合することを考えている。ただ、地域により実情が違うので、地域に合った活動を通じ自立する地域を目指してほしい。行政としてそれを望んでいる。

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは  
特許期間満了後に、厚生労働省の承認のもとに販売されるお薬のこと。医療品は1万種以上と言われるなかで、6,600品目が後発医薬品として登録されている。欧米では50～60%を超えるのに対して、日本は16%程度にとどまっている。同じ成分で同じ効果を持ちながら、価格は5割～8割も安い。



# 自然エネルギーの 利活用を積極的に

**答** 条件見極め方向性を模索



山田 勝議員

自然エネルギーの利活用を推進することは、温暖化防止に役立ち自然を大切にし、自然科学に関心を持たせ、更に雇用の

場が確保できる。

あらゆる方面の自然エネルギーを活用し次世代に力強く繋がなければならぬ。

**市長**

太陽光発電設備への助成制度は、気象条件的に不利であり、情勢を見極めたい。

地熱利用融雪の実証実験で効果があれば補助金を付けてでもやっていく。多方面の自然エネルギー利用のコンペは環境

に対する意識高揚のために考えていきたい。

## 小規模高齢集落の 活力再生を

**山田**

小規模高齢集落については、コミュニケーション事業等で特別支援をしているが、耕作放棄地など農業関係や産業の振興、集会所など施設の整備、都市との交流人口増進策等々、更なる活性化支援

が早急に必要だが。

**市長**

就農者受け入れをするなどで「農」を守りたい。現在行っている健康関連事業の実証の中で産業振興を考える。

交流人口増加に向け、情報の窓口や発信を行う。「滞在」から「二地域居住」、そして定住に向けた拠点整備として辻又センターの改修をし、モデル実証する。

# 大原運動公園は 野球場建設が目的か

**答** 夢や希望になる施設をめざす



岩野 松議員

検討委員会資料には、塩沢地域は都市公園が少なく、総合運動公園の整備が必要とあるが、討議は筑波大の国有地に公式

野球場ありきを受けとれる。

豪雪地に屋外の公式球場は維持費、修繕費もかかる。委員会に出された市の試算には、10億円の特別債事業は市税の持ち出しが4億円(15年返済)、年間3,000万円位必要だ。福祉にまわすべきだ。市民は安心できる保証を望んでいる。お荷物になる施設は作るべきでない。

**市長**

筑波大学の敷地を含み市民の誇りとなる施設にしたい。将来的にお荷物にはしない。スポーツ振興の意味からも、また子どもたちへの夢や希望になる施設をめざしたい。合併特別債をすべて使う訳ではない。子育て支援や福祉は絶対に迷惑をかける。使命感をもってやる。

## 非課税世帯から課税 世帯への対応を問う

**岩野**

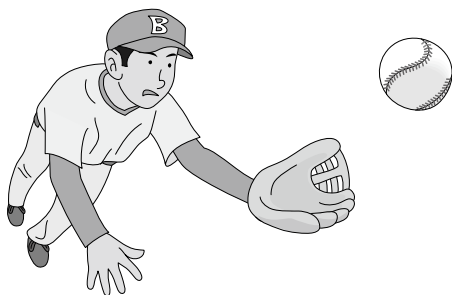
非課税世帯がわずかな住民税課税によって、介護保険料や後期高齢者保険料が倍近くになる。市長の裁量、減免は考えられないか。

**市長**

高齢者だけに特別な裁量はできない。何が何でも取っていくことはないので相談に来てほしい。



辻又多目的センター



## 大和地域の ゴミ処理を溶融炉へ

**答** 魚沼市と事務レベルで  
協議を始めた



寺口友彦 議員

大和地域のゴミは魚沼市のエコプラントで処理をしている。処理料金とゴミ袋も別である。一本化について早急に解決す

べきだ。お金を払ってでも溶融炉に入れたいとの希望が多い。溶融炉とエコプラントの維持を総合的に考えて、経費のかからない処理方法を検討すべき。

**市長**

料金も袋も違うことは早期に解決すべきことと自覚している。溶融炉とエコプラントをうまく活用することを始めて事務レベルで協議を始めた。

## 事務事業の見直し に仕分け人の活用 を

**寺口**

国の事業仕分けは乱暴な部分が多いが、どう評価しているか。先進地の事業仕分けは、民間人を入れて外部からの評価を重要視している。市の地域審議会や検討委員会で

まず、袋の号数を統一することからやる。

**市長**

国の事業仕分けは斬新な発想であるが、1時間で結論を出すという、実に乱暴なやり方だ。地域審議会には3年間の投資事業を、予算を含めて提示してある。新たに仕分け人を選ぶ考えはない。

は、お金を含めて議論をしてもらうべきだ。



溶融炉がある環境衛生センター（島新田）

## 福祉・子育ての まちづくりの推進を

**答** トータル的に考える



塩谷寿雄 議員

①ふれ愛支援センター改修工事について、障がい者のために親切な施設となっているか。施設の玄関に車椅子用の

スロープがあるが屋根がなく、雨の日にはスプ濡れになってしまう現状をどう考えるか。

②こども通院医療費助成の対象者を中学校卒業までに引き上げることによって、3,816人の子どものたちの保護者の方の負担が軽減される。

③父子家庭支援について、国では4月から父子家庭

**市長**

庭を母子家庭並みの児童扶養手当の対象とすると言っているが、担当部には何も示されていない。我が市でもやるべきではないのか。

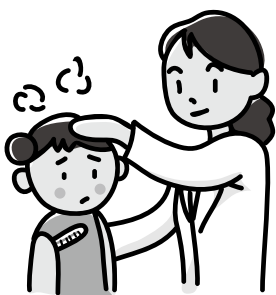
①障がい者の要望を取り入れ建設をした。今、駐車場やスロープに屋根がなく困っている現状を把握している。

費用的にも高額でありすぐ予算化すること

はできないが、検討する。

②通院医療費助成年齢の引き上げは考えていない。子育て支援に関してはトータル的に考えている。

③国の推移を見たい。





## 平成22年度予算の 編成方針は

**答** 緊縮財政でなく、  
財政出動を考えている



笠原喜一郎 議員

不況の中での編成である。一番に取り組まなければならないことは、セーフティネットを充実して市民の安心を確保

すること。二番目は雇用の確保、資金繰り対策である。鉛筆、消しゴムの一つまで地元事業者への発注で対応すべき。三番目は人づくり、教育である。22年度予算編成方針を問う。

### 学区再編するのか

政でなく基金取り崩しを含め財政出動を視野に入れている。

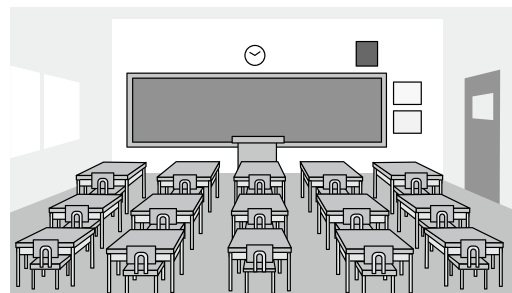
### 教育長

小と赤石小、後山小、栃窪小。中学校では五十沢城内、大巻の統合が明記された。今後どういう取り組みをしていくのか。

### 笠原

「こどもたちにとって好ましい教育環境はどうあるべきか」をテーマに2年間検討してきた。答申では石打小と上関小、第一上田小と第二上田小、大巻小と五日町小、三用

まずは答申の内容をきちんと伝えていく。その後、校区ごとに区長、保育園、PTAの保護者というように範囲を拡げて考える会を立ち上げて議論していく。



## 「戦国エキスポ」の 議会説明は充分か

**答** 議会軽視に当たらない



牧野 晶 議員

12月議会の条例審議の中で、「戦国エキスポ」について同僚議員から内容の説明・資料配布を求める質疑があったが、ま

だ概要だけで説明できる資料はないという説明がされた。しかし、その日の夜に塩沢商工会青年部の会議に出席したところ、その会議では資料配布があった。

### 市長

市は「戦国エキスポ」の事業主体ではなく、実行委員会に補助金を出し運営してもらう考えであり、概要説明は受けているが詳細についてはまだ報告を受けていない。その資料は牧野議員からの指摘で初めて知ったし、担当部長もそうであり、議会軽視ではない。ご理解いただきたい。

### 牧野

議会軽視でないのは解ったが、事務局は市の職員であり、市長・担当部長が説明を受けていないことは内部的に問題ではないか。

### 市長

全ての事業詳細の報告を受けるわけではない。また事業を決定した訳ではないので問題ない。



## 情報館建設に併せ読書環境の整備はどうする

**答** 図書館のインターネットサービスの改善等進めたい



佐藤 剛 議員

読書は思いやりや生きていく力、社会性を育てるといふ効力があり、だから教育やその基礎である読書環境の整備は重要

だ。

いま市の図書カードの登録率約16%と大変悪い

情報館建設で読書環境の改善を期待するが、施設以外での改善も必要だ。

図書館独自のホームページや学校図書館間のオンライン化など借りやすい環境整備の考えはな

いか。  
図書館等の司書は役割を果たすに不足でないか。

図書館は利益を求めず、読書を広める任務からも

指定管理制度でいいのか。

**市長・教育長**

図書館のインターネットサービスの改善、学校間のオンラインでの連携は考えている。

司書数は不足であり、図書館司書を充実させ、学校等も巡回するとか、子どもの活動も進める等で、学校間のネット化や読書の感心を高めること

につながるかと考えている。

指定管理による運営については、根本的に見直

さなければならぬと思

**ファミリーサポート事業の拡充は**

**佐藤**

ファミリーサポート事

業は今1番求められている子育て支援の1つの形だと思ふ。病児・病後児への対応の拡大はあるか。

**市長**

軽度で会員の同意を得た中で対応するようにしたい。

## 新年度予算の基本的な考え方・重点施策は

**答** 市の政策は、若い職員の視点が大切



関 常幸 議員

100年に一度と言われる世界的経済不況から立ち直れず、政権も変わり、今まで経験したことのない社会・経済、政治

情勢のなかで、新年度がスタートする。

その新年度予算は市民生活に直結する。

重点施策は①雇用対策、

②子育て環境の充実、③教育環境の充実、④コミュニティ活動の推進、

⑤財政の健全化と先の同僚議員の質問で答弁いただいたので、予算編成の経過や手順、方法は。

そして、斬新な考えを入れるべく若い職員も参加させるべきと思うが。

**市長**

予算の編成方針や大項目的な部分は、庁内LAN等で全職員に周知させている。それに基づき、部や課で予算を組む例年3〜5億円予算オーバーする。

最初に財政課でヒヤリングし、その後市長査定で決定する。

若手職員が予算編成に係わるよう検討する。

**次期水田農業施策について**

**関**

次年度から導入される「米戸別所得補償モデル事業」と「水田利活用自給力向上事業」は、当市の農業にどのように影響するのか。

**市長**

ほぼ概要が見えてきたので、JAと連携協力し、農家所得が落ちることのないように対応する。



図書館（市民会館内）

# 「愛プロジェクト 推進基金条例」 を制定しました

昨年1月11日から12月27日まで開催された「愛・天地人博南魚沼」には、43万人を超える入場がありました。その収益金を基金とし、直江兼統公が掲げた「愛」の理念の下に市全体に発信する観光振興を目的とする事業（愛プロジェクト）の費用とします。

基金積立は3,000万円とし、当面の事業は4月11日から天地人博の会場で行われる「戦国EXPO」の費用の一部とされます。

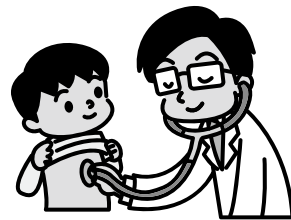


昨年開催された「愛・天地人博南魚沼」

# 「地域医療対策 調査特別委員会」 を設置しました

魚沼基幹病院も平成21年度新潟県予算もつき、いよいよ具体的に動きだしましたが、基幹病院開設に伴って、この地域の医療の体制は大きく変わります。

当然、基幹病院を中心に再編され、連携すること、この地域の医療を守っていくことになりませんが、市（行政）も「医療再編アドバイザー会議」で市全体の地域医療を検討しています。



12月議会では、議会の立場で地域医療にかかわる諸問題の調査、提言を行うために、議会発議で「地域医療対策調査特別委員会」を設置しました。

委員 岡村雅夫	委員 笠原喜一郎	委員 鈴木木一	委員 寺口友彦	委員 関常幸	委員 山田勝	副委員長 林茂男	委員長 松原良道
------------	-------------	------------	------------	-----------	-----------	-------------	-------------

## 意見書提出しました

電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

緊急経済対策の早期実施を求める意見書

米戸別所得補償制度に関するモデル事業に関する意見書





	桑原主美	林茂男	鈴木一歩	塩谷寿雄	小澤実	黒滝松男	中沢一博	山田勝	今井久美	牧野晶	佐藤剛	寺口友彦	関常幸	井上智明	樋口和人	関昭夫	腰越晃	阿部俊夫	阿部久夫	牛木芳雄	笠原喜一郎	中沢俊一	岩野松	岡村雅夫	若井達男	松原良道	
	歩む会	歩む会	歩む会	歩む会	南魚みらいクラブ	南魚みらいクラブ	南魚みらいクラブ	市政クラブ	市政クラブ	歩む会	市民クラブ	市民クラブ	南魚みらいクラブ	南魚みらいクラブ	南魚みらいクラブ	市政クラブ	市政クラブ	市政クラブ	歩む会	市民クラブ	かたくり	かたくり	日本共産党議員団	日本共産党議員団	南魚みらいクラブ	南魚みらいクラブ	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

	×	-	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	※	×	
	×	-	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	※	×	
	×	-	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	※	×	
	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	※	×
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	×	-	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	※	×
	○	-	○	○	×	-	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	※	×
	×	-	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	※	×
	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

# 平成21年 第3回・第4回臨時会 12月定例会

表中の記号について

○ = 賛成 × = 反対 - = 欠席

(※議長は議案裁決に加わりませんが、  
同数の場合は議長裁決となります。)

議員氏名  
(議席順)

会派  
採決結果

## ◎議案

第103号議案	南魚沼市監査委員の選任について (関 昭夫)	同 意
第104号議案	南魚沼市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可 決
第105号議案	南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部改正について	可 決
第106号議案	南魚沼市愛プロジェクト推進基金条例の制定について	可 決
第107号議案	南魚沼市斎場条例の制定について	可 決
第108号議案	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可 決
第109号議案	平成21年度南魚沼市一般会計補正予算 (第4号)	可 決
第110号議案	平成21年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	可 決
第111号議案	平成21年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算 (第2号)	可 決
第112号議案	平成21年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	可 決
第113号議案	平成21年度南魚沼市下水道特別会計補正予算 (第2号)	可 決
第114号議案	平成21年度南魚沼市水道事業会計補正予算 (第3号)	可 決
第115号議案	平成21年度南魚沼市病院事業会計補正予算 (第4号)	可 決
第116号議案	南魚沼市教育委員会委員の任命について (岡田博文)	同 意
第117号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について (並木義雄)	同 意
第118号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について (木村恵美子)	同 意
第119号議案	南魚沼市手数料徴収条例の一部改正について	可 決

## ◎請願・陳情

請願第6号	後期高齢者医療制度のすみやかな廃止の意見書を国に提出することを求める請願 (請願者:新潟県社会保障推進協議会 会長 坪谷 誠) (紹介議員:岡村雅夫)	不採択
請願第7号	家族従事者の人権保障のため「所得税法56条の廃止を求める意見書」採択を求める請願 (請願者:魚沼民主商工会婦人部 部長 小柳美枝子) (紹介議員:寺口友彦)	不採択
請願第8号	EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願 (請願者:農民運動新潟県連合会 代表者 町田 擴) (紹介議員:岩野 松)	不採択
陳情第4号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情 (陳情者:新潟県弁護士会 会長 和田光弘)	採 択

## ◎議員発議案

発議第15号	特別委員会の設置について (議会広報編集特別委員会) (提出者:樋口和人)	可 決
発議第16号	南魚沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について (議員報酬、期末手当) (提出者:牛木芳雄)	否 決
発議第17号	南魚沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について (期末手当) (提出者:井上智明)	可 決
発議第18号	電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について (提出者:関 常幸)	可 決
発議第19号	特別委員会の設置について (地域医療対策調査特別委員会) (提出者:樋口和人)	可 決
発議第20号	後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書の提出について (提出者:岡村雅夫)	否 決
発議第21号	所得税法56条の廃止を求める意見書の提出について (提出者:寺口友彦)	否 決
発議第22号	EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する意見書の提出について (提出者:岩野 松)	否 決
発議第23号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出について (提出者:関 常幸)	可 決
発議第24号	緊急経済対策の早期実施を求める意見書の提出について (提出者:中沢一博)	可 決
発議第25号	米戸別所得補償制度に関するモデル事業に関する意見書の提出について (提出者:関常幸)	可 決

# 大崎小学校の6年生が 傍聴に来てくれました



初めて見た市議会

市議会を見て  
初めて知ったこと



星野伶奈さん

この度は、南魚沼市議会定例議会を傍聴させていただき、ありがとうございました。

私は、市議会を初めて見ました。議員さんたちが、私たち市民のために様々なことを話し合っていることが分かりました。

例えば、「魚沼基幹病院の看護師対策のこと」「南魚沼広域有機センターとその周辺の環境対策」などです。議員さん方の真剣な議論を聞いて、どうすれば暮らしやすい・過ごしやすい市になるのか、自分自身改めて考える良い機会となりました。残念ながら短い時間しか見学できませんでしたが、たくさん収穫があり、良い経験となりました。ぜひ、今度また機会があったら議会の様子を傍聴してみたいです。



種村淳平さん

12月15日に、南魚沼市議会の様子を見学に行きました。ぼくは、議会の様子なんてテレビでしか見たことがありませんでした。

初めて見て「すごい」と思ったことが二つあります。

一つ目は、議場がものすごくきれいだっただけです。ゴミ一つ落ちていませんでした。

二つ目は、会議をしている市長さんをはじめとして、26名の議員のみならず市役所の方々が、南魚沼市民のために意見を交わされていたことです。

議会の途中で、市長さんが大崎小学校を紹介してくださいって、とても嬉しかったです。また今度、機会があったら行きたいと思います。ほんとうにありがとうございました。

## 編集後記



昨年10月18日  
投票票で行われた市議会議員選挙後、初の定例会が終わりました。

今議会での一般質問は、26名中20名がそれぞれ新たな気持ちで市政を質しましたが、南魚沼市も合併から4年が過ぎ、今までの各種計画策定の時期から、今後はその計画を実現に向けての時期であり、今まで以上に議会の役割が大きくなります。

議会広報編集特別委員会も体制を新たに、そういう大事な時期の議会の動きを、市民の皆さんにわかりやすく、そして読んでもらえる「議会だより」を心がけて編集したいと思います。

今後とも、ご意見等がありましたらお寄せください。

議会広報編集特別委員長 佐藤 剛

## 3月議会

3月2日(火)より

19日(金)予定

…詳細は議会事務局へ  
(☎773-6650)

### 議会広報編集 特別委員

委員長

佐藤 剛

副委員長

小澤 実

委員

桑原 圭美

林 茂男

黒滝 松男

腰越 晃

中沢 俊一

岩野 松

